

小動物インビボイメージングを行っておられる先生方へ

平成 20 年 11 月 27 日

下記の通り、小動物インビボイメージング勉強会のご案内をさせて頂きたく、メール致しました。

ご高覧頂けましたら幸いに存じます。

-----

貴施設におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

近年日本国内においても、多くの小動物用 PET, SPECT 装置が稼動しています。特にこの 2 年間にこれらの装置を所有する施設が増え、その数は現在 20 施設以上になっています。

ヒトと小動物では代謝やその速度等異なる場合があります。また、臨床用装置に比べ高い空間分解能や被検物が小さいという違いがあります。そのために小動物特有のノウハウが必要になる場合があります。

そこで、小動物用 PET・SPECT でインビボイメージングを行う際のノウハウ等の共有等を目的として ”小動物インビボイメージング勉強会” を開いてはどうかと考えました。第 1 回目として以下のように計画いたしましたので、ご案内させていただきます。

多くの施設からのご参加をお待ちしています。

日時：平成 21 年 1 月 21 日（水） 午後 1 時～ 5 時半

場所：浜松医科大学講義実習棟 2 階会議室

費用：無料（但し、意見交換会は実費 5～6 千円）

内容：

1. 本会の趣旨説明 (和田) 座長 間賀田
2. 理研での経験から (和田) 座長 簗野
3. 動物ハンドリングの実際 (話題提供数名) 座長 外山
4. 各装置の紹介 (装置所有施設) 座長 木村
5. 次回以降について (間賀田)

この後、浜松駅前付近に場所を移し、午後 6 時半より意見交換会を行います。意見交換会の場所はまだ決まっておられませんので、出席される方においてご連絡いたします。

本メールは小動物用イメージング装置を用いる実験の実施担当者あるいは責任者と思われる各施設1名の方を代表として送らせて頂いています。各施設内で本メールを回覧頂けますようお願い致します。また、今回のご案内は研究施設のみとさせて頂いていますので、ご了承頂ければ幸いです。

なお、今回は場所の都合もあり、勝手ながら各施設から1～2名程度の参加とさせて頂きたく存じますので、よろしくお願い致します。

参加をご希望される方は間賀田 ([magata@hama-med.ac.jp](mailto:magata@hama-med.ac.jp)) 宛にお名前、御所属、連絡先(メールアドレス)、意見交換会出欠をご返送下さい。

小動物インビボイメージング勉強会発起人

木村 裕一 (放射線医学総合研究所分子イメージングセンター)

外山 宏 (藤田保健衛生大学医学部)

簗野健太郎 (国立長寿医療センター研究所)

間賀田泰寛 (浜松医科大学光量子医学研究センター)

和田 康弘 (理化学研究所分子イメージング科学研究センター)

(50音順)